

(2)排水処理対策

①雨水処理

7)浸透ゾーン必要容量（供用開始後：1/50確率規模）

供用開始後の排水計画を図-6.1.2(2)に示す。

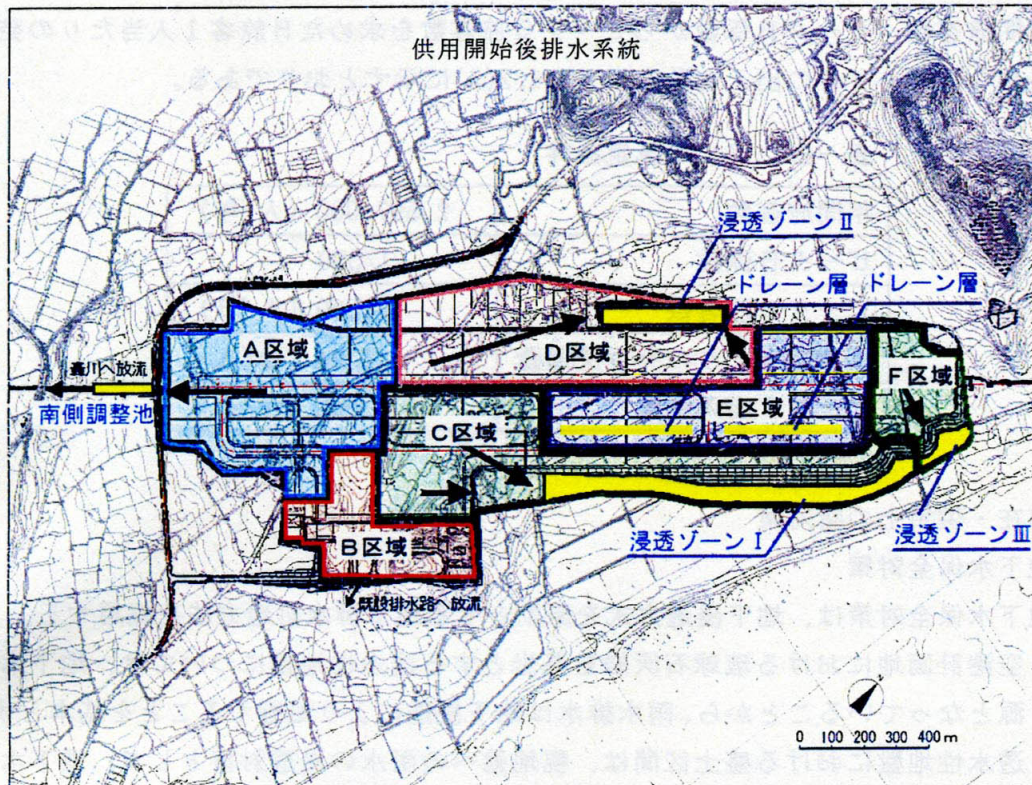


図-6.1.2(2) 供用時の排水計画

供用開始後における、各浸透ゾーンⅠ～Ⅲの必要容量は、50年降雨を計画降雨規模として、①短期降雨強度、②長期降雨強度、による検討を行った結果、①短期降雨強度、による必要容量が大きくなることから、これを採用する。

■算定された必要水深を10cm単位でまるめ、有効水深とする。

■恒久的施設の余裕高として、有効水深に余裕高（0.6m）を見込み、浸透ゾーン深さとする。

「空港排水施設・地下道・共同溝設計要領」（平成11年4月、運輸省航空局監修）
及び「防災調整池等技術基準（案）」（平成4年10月、（社）日本河川協会）